



2026年7月1日

株式会社あいち銀行

住宅ローンの不正利用を防止する取組みの高度化について

株式会社あいち銀行（代表取締役頭取 鈴木 武裕）は、株式会社三菱総合研究所（以下、MRI）が運営する住宅ローン・データ・コンソーシアム（以下、コンソーシアム）^{※1}を基盤とした、MRIによる「住宅ローン領域における不正検知を金融機関と共同で高度化する取組み」に参加しますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景

近年、住宅ローン業務においては、本来は自己居住用住宅の取得を目的とする融資であるにもかかわらず投資用物件の購入に充てる行為や、物件価格の水増し、収入資料の改ざん等により審査を不正に通過しようとする行為といった不正利用を防止する重要性が高まっています。

本取組みに参加し不正検知を高度化することで、不正利用を防止し、お客さま利益の保護に努めてまいります。

2. 本取組みの概要

本取組みでは、コンソーシアム加盟金融機関が保有する不正案件データを横断的に集約し、不正検知の共同化を目指します。個々の金融機関単独では件数が限られる不正案件データを集約することで、不正との関連性が高い特徴を抽出し、分析の高度化を図ります。

具体的には、①不正動向の可視化と地域特性の分析、②案件ごとの不正リスクスコアの算出、③最新の不正手口・事例（対策ポイント）の共有、④不正利用に関する注意喚起情報（業者情報等）の共有を行います。これにより、自行だけでは把握しづらかった不正動向・手口等の把握に加え、案件ごとの不正リスクスコアを活用した事後点検や対策の見直しが可能となるほか、他行の知見も補完し、地域・業態を超えた不正防止につなげることが期待できます。

※1 MRI が 2010 年から運営する共同データベースで、加盟金融機関から提供される住宅ローンに関する各種データを活用して信用リスク、デフォルト実績、プリペイメント実績、金利・保証料などの各種情報を蓄積しています。

<参考>

- ・株式会社三菱総合研究所 発表資料「三菱総合研究所、住宅ローン不正検知の共同化を開始」
<https://www.mri.co.jp/news/press/20260701.html>

以 上